

第三十一回帝國議會
衆議院

取引所法中改正法律案外一件

(取引所税法) 委員會會議錄(速記) 第五回

會議

大正三年三月十七日午後三時十五分開議

出席委員左ノ如シ

鵜澤	總明君	森久保	作藏君
翠川	鐵三君	小泉	策太郎君
佐々木	仙一君	渡邊	修君
富安	保太郎君	坂口	仁一郎君
根津	嘉一郎君	加賀	卯之吉君
紫安	新九郎君	早速	整爾君
出席國務大臣左ノ如シ			
農商務大臣	山本	達雄君	
出席政府委員左ノ如シ			
農商務次官	橋本圭三郎君	農商務省商工局長	岡
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ			
取引所法中改正法律案			
取引所税法改正法律案			

農商務省商工局長 岡 實君

取引所法中改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

委員(長) 農商務省商工局長 岡 實君

取引所税法改正法律案

條——二十五條ノ何デモナイコトデアリマスガ、二十五條ノ一項中「賣建買建」トアル

此「建」ト云フ字ヲ平素取引所ニ於テ一般用井付ケテ居「付」ト云フ字ニ修正シ、即チ

「賣付買付」ト云フ文字ニ訂正シタト思ヒマス、建ルト云フ字ニスルト始終相場ガ建ッ

テ居ルヤウニ聞イテ面白クナイト云フノデ、是ニ付テハ政府モ御同意デアッタデアリマス、

ソレカラ同條第二項ニ「前項ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ取引所之ヲ除名スヘシ」ト云

フコトガアル、併シ除名ト云フヤウナ殆ド死刑ノ宣告ヲ頭カラスルノハ酷イノデ、其情狀ニ

依ッテハ營業ヲ停止スルト云フヤウナ裕リ付ケタガ宜イト思フノデ、之ヲ「前項ノ規定ニ

違反シタル仲買人ハ取引所ニ於テ營業ヲ停止シ又ハ除名スヘシ」ト云フヤウニ修正シタ

イ、併シ若シ文章ガ惡ルケレバアト御訂正ヲ願ヒマス、要スルニ營業停止モ仲買人ニ

ハ痛イノデアリマスカラ、情狀ニ依ッテハ營業ヲ停止スルト云フ場合モ規定シテ置ケガ宜

カラウ、斯ウ云フ意味ニ過ギヌデアリマス、ソレカラ第二十六條ノ二、是ハ「取引所

外ニ於テハ」トアルノヲ「取引所ニ依ラスシテ」ト云フコトニ訂正シタノデ、此取引所

外ト云フコトニ付テハ、隨分是マデ裁判所ナドニ於テモ取引所ノ内外、即チ家ノ内外ト

カ云フコト議論ガアリマスカラ、寧ろ取引所ニ依ラスシテ改正シタト思ヒマス、ソレ

カラ三十一條ノ一項デアリマス、是ハ但書ヲ削ルデアリマス「但シ刑法ノ刑重キトキハ

刑法ニ依ル」ト云フヲ削リ、サウシテ第四號ノ「仲買人ニシテ委託者ニ對シ其ノ委託

ヲ受ケタル取引ニ關シ虚偽ノ通知ヲ爲シタル者」ト云フ之ヲ全部削除スル、是ハ刑法ニ

依ッテ罰シテ差支アリマセヌカラ、茲ニ此刑法ノ刑別ニ掲ゲテ置ク必要ハナカラウト思

フノデ之ヲ削リマス、サウスルト一二三號ハ皆所謂行政罰ニナルデアリマスカラ、茲ニ特

ニ刑法罰ヲ掲ゲテ置ク必要ハナカラウト云フ故ヲ以テ削除スル意見デアリマス、ソレカラ

第三十二條ノ五、是ニモ「取引所外ニ於テ」トアルヲ之ヲ「取引所ニ依ラスシテ」ト修正

致シマス、次ニ三十二條ノ六ノ中「又ハ第三十一條第四號ノ規定ニ該當スル行爲ヲ

爲シ」ト云フ是ダケノ文字ヲ削除致シマスルト、第三十二條ノ六ハ斯ウナリマス「會員

又ハ仲買人ハ其代理人戸主家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其業務ニ關シ第

十一條ノ四若クハ第十二條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デサルノ

故ヲ以テ其處罰ヲ免ルコトヲ得ス」斯ウ云フ風ニ修正シタイ、是モ是ダケ削レバ行政

罰ニナッテ、刑法ノ罰ハ削除スルコトニナリ、刑法上ノコトハ刑法罰スルコトニシテ之ヲ

削除スルト云フデアリマス、私ノ意見ハ前段申述ベタ通りデアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○小泉策太郎君 私ハ唯今ノ渡邊修君ノ修正意見ニ大體賛成スルデアリマスガ、

其中第十一條ノ四ノ末項ニ「何人ト雖定期取引ノ委託ノ代理媒介又ハ取引ヲ營業

ト爲スコトヲ得ス但シ仲買人農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此限ニ在ラス」トア

ル、此但書削除ニ付キマシテハ、勿論渡邊君ノ御演說ノ趣旨ノ如ク支店出張所ヲ削

ルハ必要デアリマスガ、之ヲ絕對ニ禁止スル實際ニ不便ヲ生ズル場合モアリマスカラ、

先日政府委員ノ説明ニ依ッテ此除外例ヲ設ケタ政府ノ用意モ明ニ分ッテ居リマス、其

政府ノ用意ノアルトコロハ至當ト考ヘマスカラ、此但書ヲ削除スルコトニハ反對デ、即チ此條項ニ付テハ原案ヲ維持スルノデアリマス、ソレカラ第二十五條ノ仲買人ノ除名處分ノコトデスガ、直ニ除名ト云フノハ餘リ酷ニ失スルヤウデアリマス、營業停止ノ中間處分ヲ加ヘタイト云フ渡邊君ノ御修正デアッタガ、併シ是ニハ御言葉ガ足りナカッタカ期限ガナカッタノデ——「仲買人ハ取引所之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ又之ヲ除名スヘシ」ト云フコトニ改メタイト云フ趣意デアリマス、其他ハ渡邊君ノ改正ニ總テ賛成デアリマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○翠川鐵三君 私ハ他ノコトハ兩君ヨリ述ベラレタコトニ異存ハナイ、全然同意ヲ表スルモノデアリマスガ、此十一條ノ四ニ付テハ今小泉君ノ御説モアリマシタカラ此場合政府ニ一ツ御尋ネシテ、然ル上贊否ヲ決シタイト考ヘテ居リマス、是ハ東京若クハ大阪ノ如キ大キナ取引所ヲ取引ノ澤山アルトコロニ於テハ、或ハ此條文ノ如キ趣意ガ實際必要ト思フガ、之ヲ地方デ頻リニ用弗ラレテハ、甚ダ地方ノ風俗ヲモ害シ、地方經濟界ノ紊亂ヲ來ス憂ガアリマスカラ、何トカノ方法ヲ以テ是ハ東京若クハ大阪位ヲ限定スル意味デ、施行法トカ何トカデ明ニスベキ方法ヲ御執リニナル御意思ハアリマセヌカ、ソレヲ承ツテ置キタイ、今東京若クハ大阪ノ如キ場所ニ斯ウ云フコトハ必要デアルト云フ仲買人ニ便利ヲ與ヘルト云フ意志ニ出デラレテモ、從來其主意ヲ繼グコトナクシテ、地方カラ斯ウ云フ特別ノ事情ガアリマス、ア、云フ特別ノ事情ガアリマスト云フ名ノ下ニ、頻リニ出張所若クハ支店ト云フヤウナモノヲ拵ヘルヤウナ弊ヲ生ジマス、甚ダ地方ノ淳朴ナル人民ハ是ガメニ害毒ヲ受クルコトハ今日マデ實例ガ澤山アルノデアリマスカラ、私ハ此點ヲ憂フルタメニ重ネテ御尋シテ置キタイ、若シ其趣意ガ明カナリマスレバ、渡邊君モ強ヒテ主張ハサレマイト思ヒマス

○農商務大臣(山本達雄君) 御答致シマスガ、今マデ政府委員カラモ御答ラシタコト、考ヘテ居リマスガ、全體之ヲ起草シマスルコトニ於テ、斯ウ云フモノハ入レズシテ行カウト云フ積リデヤッタノデス、トコロガ例ヘバ東京ノ人が大阪ノ取引所ニ於テ、先ヅ株ト見マスルト云フト大阪ニ掛ッテ居ル商船會社トカ又ハ瓦斯トカ電燈トカ云フモノヲ此方ラデ注文スルトキニ方ッテ、ヤハリ此方ヲ得意ノ仲買ニ話ヲスルト云フト、ソレハ以前ノ取引先ガアル故ニ其所ニ注文シテ買ツテ上デマセウト云フコトガアル、又大阪ノ人が東京ニ於テ諸株ヲ買ヒタイト云フトキニ、向フノ仲買人ニ話ヲスルト、ヤハリソレニ付テノ取引先ノ仲買人ガアルデスカラ、ソレニ話ヲシテ此方ラデヤルト云フヤウナコトハ取引ニ付テ往々起ルコトデ、ソレガタメニ別ニ弊害ノ起ルト云フモノデハナクシテ、却テ二者タル得意ニ便利ヲ得シムルニ付テ都合ガ宜クハナイカ、併シナガラ一方ノ支店出張所ヲ總テ禁ジテアルノニ、之ガ若シ今翠川君ノ御話ノ通り濫用サレルヤウナコトガアリマス、マルデ此レヲ置キマスル精神ガ沒却サレシマウ、デスカラ今ノ如クヨク／＼ナルモノデナケレバ許サナイ、極ク狹イ意味ニ於テヤル考デ是ヲ入レタデアリマス、之ヲヤリマシテモ別ニソレガタメニ弊ガ起ルヤウナコトハアルマイト思フテ入レタ次第デス

○阪口仁一郎君 チヨット渡邊君ニ御質問致シマスガ、私ハ聞キ落シタカ知レマセヌガ、十一條ノ四但書ヲ削リニナリマスレバ、十一條ノ第一項ノ方デ「但書」場合ヲ除

クノ外」ト云フノハ是ハ削ラナケレバ……

○渡邊修君 發議シマシタ、削ルト云フ……

○高木益太郎君 本案ハ大體ニ於テハ一ツ同意ヲシタイト思フノデアリマスガ、唯ダ一ツ今渡邊サント小泉サント仰シヤッタ此二十五條ノ除名ノ一件デアリマスガ、是ハ政府ノ方デモ一ツ讓歩ヲ願フデ、今ノヤウナ工合ニ停職——ソレカラ文章ハ何レ委員長ガ立派ナ御方ガ御出デアリカラ、文章ハ委員長ニ任セマスケレドモ、停職ソレカラ罰金ト譴責位ニシテ、頭カラ除名スル——首ヲ斬ルト云フコトハ酷イト思ヒマス、此法律ガ取締ガ行ハレテ居ルカト云フト、ドンナ仲買人ト雖モ吞マヌ仲買ハ一人モナカラウ、岡サント調ベテ見タトコロデ——或ル時代ニ取引所ノ理事長ガ試ミ吞ム程度ヲ試驗スルタメニ仲買ニ注文ヲシテ見タトコロガ、其注文ハ下駄ヲ穿イテ居タト云フコトデ、下駄ヲ穿イタ場合デモヤハリ除名處分ヲ受クルコトニナルノデアリマスカラ、此法律ガ行ハレナイ法律ヲ御拵ヘニナルナラバ別段デアルケレドモ、眞ニ首ヲ斬ルト云フ御考デ農商務省ガ勵行ナサルト云フナラバ除名ハ酷カラウト思ヒマス、サウスレバ仲買人悉ク首ヲ斬ラナケレバナラヌコトニナル、ソレカラ故意デ下駄ヲ穿クトカ吞ムトカ云フ行為デナク、前場ニ東株十株ノ注文ガアッタケレドモ、ソレヲ後場デ賣買シテ、ヤハリ前場デ出來タヤウナ工合ニシテ報告スルト「同一」又ハ類似ノ計算ヲ以テ委託者ニ決濟ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フコトニナル、外ノ規定ヲ見ルト、判事デモ辯護士デモ人間ノ規律ヲ嚴重ニスル者ハ、必ズ譴責、罰俸、停職、除名ノ四階級ニナツテ居ル、然ルニ取引所ガ幾ラ惡ル仲買ヲ置イタトモ、除名アルヤウナ譯デ、仲買ト云フモノハ妙ナ人バカリニナツデシマウ、サウスルト外ノ規定デ仲買人ノ地位ヲ向上ナサセヤウト考ヘテモ、罰ヲ受ケテハ溜ラヌカラト云フノデ、自然責任ヲ追レルヤウニナリマスカラ、四階級位ニ譴責、罰俸、停職、除名ト云フヤウナ一般ノ官吏公吏ニ付テモナツテ居リマスカラ、此場合ニ於テモ故意デナクテ類似ノ報告ヲシタ者ニ對シテハ、譴責罰金位デ濟マサウシテ故意デアルヤツハ停職除名ヲスルト云フヤウナ工合デ——必ズ惡ルイ事ヲシタヤツハ直ニ其營業ヲ奪ツテシマウト云フコトハ無理デラウト思ヒマス、ソレデナクテモ五千圓マデ罰金ヲ取ラレル規定ガアル、何モ此規定ヲ嚴重ニナサヌデモ政府ノ目的ハ達セラル、サウデナイト皆惡ルイ仲買ニナツテ、肝腎ノ人ハ黒幕デ居ルト云フヤウナコトニナリハシナイカト思ヒマスカラ、渡邊サント小泉サント、サウ御調協願フ譯ニハ行キマスマイカ、政府ノ方デモ一ツサウ御奮發ヲ願フ譯ニハ行キマスマイカ

○村田虎次郎君 私ハ大體ニ於テ政府ノ御趣旨ノアル所ハ同意デアリマス、其同意デアルタメニ渡邊君ノ第十一條ノ四ノ御修正説ニハ同意スルノデ、而シテ又二十五條ノ一項營業停止ト云フ問題ハ、ヤハリ吾々ハ除名ト云フ方ガ取締上宜カラウト是ハ原案ニ同意致シマス、是ダケノ意志ヲ……

○阪本彌一郎君 私ハ渡邊君ノ言ハレタ如ク本案ニ付テハ甚ダ不備ヲ感ズル點ガ多イノデアリマシテ、實ハモウ少シ時間ノ餘裕ガアレバ根本的ニ大修正ヲ加ヘテ見タイト云フ考ガアルノデアリマスガ、會期モ切迫ヲ致シテ居リマスシ、殊ニ議スベキ法案ガ澤山ゴザイマス故ニ、實ハ精密ナル調査ヲシテ精密ナル修正ヲスルコトヲ欲シマスガ、兎ニ角此法案ノ惡イ點モゴザイマスケレドモ善イ點モアリマス、殊ニ此法案ニ付テハ減稅ガ伴

フテ居ルト云フ點モアリマス、故ニ不本意ナガラ私ハ將來尙ホ改正ヲスベキ點ノ多クアル
ト云フコトヲ豫言シテ置キマシテ、サウシテ尙此案ヲ通過セシムルコトヲ思ヒマス、
サウシテ之ヲ通過セシムルコト云フコトニ付キマシテハ、多ク修正スル點ガアリマスガ、是モ
先ヅ各自ノ意見ヲ銘々提出致シマスコトハ纏リガ付カヌ、而シテ時間ニ餘地ガ無イト云
フコトニナリマス、大同小異デ互ニ譲合シテ、サウシテ先ヅ比較的完全ナモノニシタイト云
フ考ヲ以テ、私モ自分ノ意見ヲ述ベテ、サウシテ修正スルコトニ致シタイト思ヒマス、先ヅ
修正ノ廉ヲ申上デマスルト、第十一條ノ二項ニ「執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ
五箇年ヲ經過セザル者ハ仲買人トナルコトヲ得ス」ト云フ條文ヲ現行法ノ如クヤハリ二
箇年ト云フコトニシタイ、是ハ何デモナイ問題ノヤウデアリマスケレドモ、五箇年ト云フコ
トハ餘リ日ガ長イ、ソレカラ一面カラ申シマスレバ是モ營業ノ一ツデアリマシテ、一遍惡
イ事ガアツカラト云フテ、何時迄モ其人ノ營業ノ自由ヲ奪フト云フコトハ私ハ正當デナイ
ト思ヒマス、一旦刑ノ執行ヲ受ケタ者ハ、先ヅ言ハハソレデ帳消ニサレテ居ルデアリマ
ス、其人間ノ其後ノ行爲ヲ監視スルコト云フ事柄ニ付テ五箇年ノ日ノ費スコトハナイ、
之ガタメニイロ／＼ノ經濟上ノ弊害ヲ生ズルコトハ面白クナイ、私ハ二箇年ト云フコトニ
シタイト云フ意見ヲ持ッテ居リマス、理由ハ多ク申述ベマセヌ、左様ノ修正ヲ致シタイ、
ソレカラ十一條ノ二デアリマスガ「仲買人他ノ取引所ノ仲買人タル免許ヲ受ケタルトキ
ハ前ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ」是ハ宜シウゴザイマスガ「前項ノ規定ハ仲買人カ取引所
ノ役員タル認可ヲ受ケタル場合之ヲ準用ス」是ハ成程理窟カラ申シマスルト、大阪ノ取
引所ニ居ッテヤハリ東京デ思惑ヲスルコトガアル、東京ト聯絡ヲ取ルト云フコトガアルノ
デ、如何ニモ實地ノ上カラ申シマスレバ、甚ダ全國ノ取引所ノ役員ト云フ意味ニシタ方
ガ意味ハ徹底スルヤウニ見エマスケレドモ、正面カラ申シマスレバサウデアリマスルガ、若シ
取引所タルト云フコトニナレバ、其役員ガ必ズモ他ノ取引所ヘ持ッテ行ッテ、自分ノ名
ヲ以テ思惑ヲシナケレバナラヌト云フコトハナイ、他ノ取引所ノ役員デアル時分ニ、ソレヲ
利用シテ自分ノ所屬ノ取引所ノ相場ヲ利用致シマスルト云フコトハ、假ニ事實アルト致
シマシテモ其波及スル力ガ乏シイ譯ニ相成リマス、ソレデアリマスカラ是ハ全國ノ取引所
ノ役員トナルコトヲ一面カラ禁ズルト云フ規定ニ相成ルト、仲買人ノ權利ヲ餘リニ制限
スルコトニナリマス、仲買人ノ權利ヲ制限スルト云フ事柄ハ、ヤハリ取引所ヲ發達セシム
ル上ニ於テ面白クナイ、元來此案ガ提出サレマシタノハ仲買人ノ地位ヲ向上セシムルト
云フノガ一ツノ目的デアリマス、其仲買人ヲ多ク檢束スルト云フコトハ仲買人ニ良イ仲買
人ヲ求メタイト云フ上ニ於キマシテ效果ガ乏シイ、ソレバカリデナイ、却テ先刻高木君ノ
言ハレタヤウニ名義仲買人ガ出來ル、名前バカリ仲買人ニナッテ外カラ金ヲ出シテ――
仲買人ノ制裁ガ重イト云フコトデ、名前ハ出サヌト云フコトニナッテ、名前ハ劣等ナ人ヲ
出スコトニナル、ソレデハ向上セシムルト云フコトガ却テ仲買人ノ地位ヲ低下スルト云フ
コトニナリマス、是ハ仲買人ノ地位カラ申シマスレバ、仲買人ノ檢束ヲ嚴ニスルト云
フ結果ニナリマスカラシテ、ヤハリ全國ノ取引所ノ役員タルコトヲ止メルト云フヤウナ意味
ヨリハ、私ハ其所屬ノ役員トナルコトヲ止メルト云フ意味ニ於テ「仲買人」ノ下ニ「其
ノ」ト云フ字ヲ入レタイ、ソレカラ監査役ハ今日ノ實際ニ於キマシテ業務ノ上ニ關係ヲ
持ッテ居ラス、餘リ取引所ノ内部ニ仲買人ト云フモノガ一切役員關係ヲ持ッテ居ラスト

云フコトニナルト、取引所ト仲買人トノ間ニ調和ヲ失フテ面白クナイ事柄ガアリマス、今
日迄ノ實況ニ徴シマシテ、仲買人ガ監査役ヲシテ居ッデモ、ドレデケノ弊害ガアルト云フ
コトハ實際ニ於テナイ、私ハ左様ノ實例ヲ聞カヌ、而シテ反對ニ仲買人ト取引所ノ衝
突致シマシタ場合ニ、仲買人ガ監査役ニナッテ居ル結果トシテ、其間ノ調和ヲ圖ルト云
フ上ニ於テ尠カラ便宜ヲ持ッテ居リマス、ヤハリ私ハ此規定ハ餘リ營業上ノ利害ノ關
係ガナク、而シテ調和ヲ圖ル便宜ガアル、ソレカラ仲買人ヲ餘リニ檢束ヲシナイト云フ上
ニ於テ、此監査役ニナルコトハ許シテ差支ナイト考ヘマスカラ、左様ニ修正ヲ致シタイト
思ヒマス、即チ「前項ノ規定ハ仲買人カ取引所」ト云フ取引所ノ上ニ「其ノ」ヲ入レテ
「之ヲ準用ス」ノ下ニ「但シ監査役ハ此ノ限ニ非ス」ト云フ舊法ノ規定ヲ其儘存シテ置
キタイノデアリマス、ソレカラ十一條ノ四デアリマス、是ハ皆サンノ御意見ガアツテ削ルト云
フ意見ト存スルト云フ意見デアリマスガ、私ハ斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス、但シ所屬
取引所ハ信認金ヲ提供セシメ承認スルコトヲ得ルト云フ但書ニ變ヘタイ、是ハ農商務
大臣ノ認可ヲ受クルト云フコトガ現行ノ規定デアリマスガ、而シテ其受ケテ出來ルモノハ
仲買人ニ極メデアリマスケレドモ、是ニモイロ／＼ノ弊害ガ伴フ、併ナガラ實地ノ場合ニ於
テ之ヲ設ケルコトノ便宜ガナイトモ言ヘナイト思ヒマス、ソコデ取引所ハ或ル信認金ヲ提
供セシメテ、其委託ノ代理媒介取次ノ營業ヲ許スコトヲ承認スルコトニシテ行キタイト
思フ、取引所ノ監督スル下ニ於テサウ云フ商賣ヲスレバ弊害ガアル、弊害ガアレバ何時
デモ止メルト云フ自由ガアルカラ、取引所ガ適當ト認メタ場合ニハ相當ノ信認金ヲ提供
セシメテ、ソレヲ承認スルコトガ出來ルト云フ規定ヲ置ケバ宜イ、斯様ニ考ヘテ之ヲ訂正
致シタイ、ソレカラ十五條ノ三ニ「仲買人ハ廢業後ト雖其ノ取引所ニ於ケル取引ノ結
了及監督ノ目的ノ範圍内ニ於テ」ト書イテアル、之ヲ私ハ「及監督ノ目的」ト云フ字
ヲ削リタイト思フ、是レハ政府委員モ過日御説明ニナリマシタガ、何カ仲買人ニ不都合
ガアツテ、之ヲ罰シヤウシテ居ル準備中ニ廢業シタリスルト仕方ガナイト云フコトデア
ルガ、既ニ廢業シタノ後カラ追掛ケテ處罰スル必要ハアルマイ、例ヘバ辯護士ナラ辯護
士ノ仲間デモ、懲戒處分ガ起ッテ懲戒裁判ガ提起サレタ場合ニ於キマシテモ、其辯護
士ガ辭職スレバソレデ懲戒裁判其モノハ消滅スル、實ハ廢業ト云ヘバ營業上ニ於テ死ヌ
ルノデアル、死ンダ人間ヲ追窮シテ生キテ居ルモノトシテ處分スルト云フ事柄ハ、法ノ上
ニ於テ酷デアルト考ヘル、取引ノ結了ヲサスト云フコトニ付テハソレハ廢業セザルモノト考
做スト云フコトハ宜シイガ、監督ヲスルノ死ンダ者ヲ追掛ケテ行ッテ生キタ者トシテ尙ホ
追窮シナケレバナヌト云フ事柄ハ、法ノ上ニ於テ寧ろ苛酷デアルト考ヘル、無論是レハ刑
事法トハ違ヒマスケレドモ、多少ヤハリ刑事制裁ノ意味ヲ有シテ居ルトコロノ法律デア
ル人間ガ死ンダ場合マデモ追窮シテ之ヲ罰スルト云フ事柄ハ酷デアルト考ヘル、其人間ヲ
除名ナラ除名ヲシタ後デ、ドウ云フ效果ガアルカト云ヘバ、何年經テバ仲買人ニナレト
云フ位ニ過ギナイノデ、是レハ農商務省デ認可ヲスル時分ニ自由ニ採擇ガ出來ル事柄
デアリマスカラ、私ノ見ル所デハ此文字ヲ置カナイデモ、又追窮シテ處分ヲシナクッ
テモ將來ノ御監督ヲナサラ上ニ於テハ自由ガアルト考ヘマスカラ、私ハ削リタイソレカラ其
末項デアリマス「前三項ノ場合ニ於テ會員又ハ仲買人ノ行爲ヲ爲ス者ナキトキハ取引
所ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ代理人ヲ選定ス」ト云フコトヲ削ッテ「行爲ヲ爲ス者ナ

キトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ他人ヲシテ其行爲ヲ爲サシムルコトヲ得」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シタイト考ヘル、是レハ餘リ利害關係ハナイヤウデアリマスガ、私ハ若シ後日ニ至ッテ其權限等ニ付テ紛議が起ル場合ニハ面白クナイカラ、定款が略々仲買人ノ代理行爲ヲスル者ノ權限ヲ定メテ置ク必要ガアルト考ヘル、ソコデ其コトヲ定款ニ定メタイト云フ目的ヲ以テ斯ノ如ク規定シタイデアリマス、ソレカラ十六條ニ左ノ一項ヲ加フトアリマシテ「取引所ノ仲買人ト間ニ資金ノ供與損益ノ分配其ノ他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ」ト書イテアル、之レヲ「資金ノ供與損益ノ分配ノ關係ヲ有スル」ト云フコトニシテ「仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害」ト云フ字ヲ抜キタイ、是レハ餘リ文字が廣ク相成リマス、寧ろ後日ニ至ッテイロ／＼紛議ヲ生ジテ面白クナイト考ヘマスカラ、斯ウ云フ文字ハ限定シテ置ク方が宜カラウト思ヒマス、ソレデ私ハ其數字ヲ削リタイト考ヘル、ソレカラ前ノ監查役並ニ取引所ノ重役、十一條ノ三ヲ訂正スルコトニ致シマスカラ「取引所又ハ取引所ノ役員ト爲スコトヲ得ス」ト云フコトニ致シタイ「又ハ之ト同種ノ物件ヲ取引スル取引所」ト云フ字ヲ削リタイト考ヘマス、ソレカラ十七條ノ二項、是レハ「其ノ他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害」ト云フ字ヲ削リタイ、是レハ前ノヲ削リマシタト同一ノ意味ニ於テ削除シタイ、ソレカラ二十五條ハ先刻渡邊君ノ修正意見ガアリマスカラ之レニ賛成スルガ、唯々二項デアリマス、二項ニ付テ私ハ元來是レハ削除説ヲ有ッテ居ッタデアリマス、斯ノ如キハ條文ハヤリ定款ニ定メタ方が宜イ、今日ト雖モ定款ニ定メテ居ル、面シテ定款ニ定メルト云フ事柄ハ、ヤハリ農商務大臣ノ認可ヲ得ナケレバナラヌコトデアリマスカラ、此法律ニ定メテモ一向効力ノ上ニ於テ相違ガナイト思ヒマスカラ、渡邊君ノ折角ノ御訂正デアアルガ、併シ營業ヲ停止スルコト云フ趣意ガ貫徹スレバ宜イト思ヒマス、唯々此場合注意シタイノハ三箇月以上ト限ルコトデアリマス、三箇月以上ト限ルト云フ小泉君ノ御議論モ今日ノ定款等ヲ參照致シマスレバ、或ハ三箇月以上ト書ク方が宜イヤウニ見エル點モアル、高木君ノ説ノ通り何處マデモヤハリ行政罰若クハ懲戒罰ニ大概一階級ノモノハナイ、又直チニ除名ト云フモノハナイ、ヤハリ、譴責トカ過料ヲ取ルト云フコトニナッテ居ル、ソレカラ營業停止モ亦狀情ニ依ッテハ三箇月以下ニシテヤラナケレバナラヌモノモアル、二箇月ニシナケレバナラヌモノモアルカラ、三箇月以上ノ營業停止ト云フ文字ノ必要ハナイト考ヘマス、三箇月以上ト云フ文字ヲ削ッテ渡邊君ノ御意見ノ通り「取引所ハ營業ヲ停止シ又ハ除名スヘシ」ト云フコトニ同意致シマス、ソレカラ第二十六條ノ二項デアリマス「取引所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ各仲買人ノ賣買高ヲ公示スヘシ」トアル、是レハヤハリ私ハ唯々「賣買高ヲ公示スヘシ」ト云フクデハイカヌ、公示ノ方法其他ハ定款ニ依ッテ定メナケレバナラヌト思ヒマスカラ、是デハ或ハ勅令トカ省令トカ御定メニナル考デアアルカ知レマセヌガ、是モ効力ノ上ニ於テ餘リ相違ハナイト思ヒマスカラ、私ハ成ベク之ヲ定款ニ規定サレタイト云フ意味ニ於テ二十六條ノ二項ヲ削除スルコトニシタイト思ヒマス、ソレカラ二十六條ノ二項ヲ修正ハ渡邊君ノ御意見ト同一デアリマス、ソレカラ第三十一條ノ修正、是モ渡邊君ノ意見ニ賛成致シマス、ソレカラ先刻加賀君ノ言ッテ三十二條ノ二項「格付ヲ爲ス者」ト云フニ特種ノ解釋ヲ用ヒラレルコトハ別ニ定メルト云フコトデアアルカラ、是ハ原案ノ儘ニ致シテ置キマス、ソレカラ三十二條ノ三デアリマスガ、第一項ノ

第三號「公示若クハ頒布ノ目的ヲ以テ虛偽ノ相場ヲ記載シタル文書ヲ作製シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者」トアリマスガ、作製シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者、是ハ私ハ大變疑問ヲ起スベキ事柄デアッデ、而シテ刑罰モ割合ニ重イデアリマス、新聞ナドニ書クトカ、或ハ其他ノ事柄ガ無論公示若クハ頒布ノ目的ヲ以テ書イタル違ヒナイガ、併ナガラソレニ必シモ過ガナイト云フ譯デアナイ、無論虛偽ト云フコト、過誤ト云フコトハ區別ガアリマスカ、ソレヲ判斷スルノニハ甚ダ混雜デアリマス、而シテ斯ノ如キ文書ガ何程ノ效力ガアルカト言ヘバ、サウ效力ノアルモノデアナイ、今日ニ於テ新聞ノ號外デモ出セバ格別デアリマスケレドモ、其以外ニ單ニ一部ノ相場付ヲ書イタルモノヲ拵ヘタカラトテ、若ハソレヲ頒布致シタカラト云ッテ、ソレニ依ッテ相場ニ變動ヲ來スト云フヤウナ憂ハ先ヅ實際ニ於テ見當ラヌデアリマス、私ハ是ハ刑罰ノ重イ割合ニ誤解ヲ生ジ易イ所ノ事柄ニ屬シマスカラ、此一項ヲ削リタイト思ヒマス、ソレカラ第三十二條ノ五デアリマス、是ハ刑法ノ純然タル賭博デアリマス、而シテ從來斯クノ如キモノハ賭博シテ罰セラレタ實例ガ澤山アリマス、是ハ例ヘバ一年以下ノ懲役又ハ二千萬以下ノ罰金ニ處スルト云フコトハ寧ろ重キニ失シテ居ルト思フ、ヤハリ賭博ハ賭博デアリマスカラ、取引所ニ關係シテヤッタ賭博ナルガ故ニ、特ニ重ク罰スル必要ハナイト考ヘマス、私ハ此三十二條ノ五ヲ削除シタイト思フ、是ハ刑法ノ規定ニ依ッテ罰シテ十分ナリト考ヘマス、ソレカラ三十二條ノ六トゴザイマスモノハ是ハ渡邊君ノ修正説ニ賛成致シマス、ソレカラ附則デ「本法ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス」トアルノヲ「本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトニ致シタイ、ソレカラ終リニ尙「本法ハ施行以前ノ行爲ニ溯及セス」トシタイ、是ハ説明ヲ俟タヌ事柄デアリマスガ、今ノ民事ノ問題トカ刑事ノ問題トカ云フモノハ、數年ニ涉ッテ居ル訴訟ガ澤山アリマス、ソレデアリマス云フヤウナ法律ガ出來テ、其執行以前ニ溯リマシテ適用スル場合ニハ、非常ナル紛擾ヲ來スコトガアリマスカラ、此法律實施以前ノ行爲ニハ一切溯及ヲシナイ、斯ウ云フコトニシテ置クノガ必要デアラウト思ヒマス、大體ニ於テ修正致シマス箇條ハ右申上ゲマシタ通りデアリマス

○根津嘉一郎君 各委員ノ御意見モ大抵御述ベニナッタヤウデアリマスカラ、最早直チニ採決ヲ願ヒマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○渡邊修君 政府委員ニ伺ッテ置キマスガ、此營業ヲ停止スルコト云フコトガ多數決シマシテ、政府モ之ニ同意サレ、バ、命令カ何カデ營業停止ハ凡ソ何箇月以下ニセヨト云フ規定ヲサレル御考ガアリマスガ、小泉君ノ説ニ賛否ヲ決スル爲ニ伺ヒタイ

○政府委員(岡實君) 法律ヲ取引所カ仲買人ノ營業停止ヲスル權限ヲ與ヘラレタ場合ニハ、其營業停止ヲ爲シ得ル範圍ハ、定款ヲ以テ自ラ制限セザル以上ハ命令ヲ以テ制限スルコトハ出來マイト思ヒマス

〔採決採決ト呼フ者アリ〕

○委員長(法學博士鶴澤總明君) 採決致シマス、此條文ノ順ニ依テ採決致シマス、第十一條ノ阪本君ノ修正「五箇年」ヲ「二箇年」ト爲スノ意見ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ十一條ノ二、ツレノ二項ノ「前項ノ規定ハ仲買人カ共」其「ト云フ字ガ入ルノデス」其取引所ノ役員タル認可ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス但シ監査役ハ此限ニ非ス」斯ウ云フ阪本君ノ修正意見デアリマス

○阪本彌一郎君 チョット御尋シテ置キマス、是ハ取引ニ弊害ガアルト思ヒマス、御同意ハ出來マセヌカ

○政府委員(岡實君) ドウモ監査役モヤハリ理事ヲ監督スル位置ニ居リマスカラ、取引所内ニ於テイロノノ事ヲ掘リ出シテ知ルコトガ出來マスカラ、理事ニ許スヨリカ監査役ニ許ス方ガ弊害ノ生ズル場合ガ多イトモ思ヒマス、同意出來マセヌ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 唯今ノ阪本君ノ修正意見ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ十一條ノ四、是ハ意見ガ澤山アリマスガ、先ヅ一番遠イ所ノ意見ハ渡邊君ノ二項ノ「但シ仲買人農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限リニ非ス」ト云フヲ削ル、其結果トシテ一項ノ「仲買人ハ第二項但書ノ場合ヲ除クノ外」ト云フヲ削ル案デアリマス、此修正ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ次ハ阪本君ノ修正ノ第二項ノ但書ヲ但取引所ハ信認金ヲ提出セシメ承認スルコトヲ得」……

○加賀卯之吉君 私ハ今居リマセヌデシタ、阪本君ニ御頼ミシテ行ツタノデスガ、此案ニ就テハ地方ノ仲買人取引所カラ此箇條ニ就テ澤山ノ意見ガ出テ來テ居ルト云フコトヲ認メテ賞ヒタイ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ツレデハ唯今ノ阪本君ノ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ第十五條ノ三「及監督ノ目的」ト云フ文字ヲ削ルト云フ阪本君ノ修正ニ同意ノ方ハ起立

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ同條ノ第四項ニ渡邊君ノ修正トシテ「農商務大臣ノ認可ヲ得テ代理人ヲ選定シ」トアルツレヲ削シテ、取引所定款ノ定メル所ニ依リ代人ヲシテ斯様ウニ修正スルト云フ此修正ニ同意ノ方ハ……

○小泉策太郎君 政府委員ハ同意カドウカ伺ヒタイ

○政府委員(岡實君) 政府ニ於テハ同意致シマス

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 異議ハアリマセヌカ

(「賛成賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ツレデハ是ハ唯今ノ「定款ノ定ル所ニ依リ代人ヲシテ」ト修正スルコトニ決定致シマス、ツレカラ第十六條ノ阪本君ノ修正「其他仲買人

ノ營業ニ付特別ノ利害關係」ト云フヲ削リ、ツレカラ更ニ「又ハ之ト同種ノ物件ヲ取引スル取引所ノ役員ト爲スコトヲ得」ト云フヲ削ルト云フ修正ニ同意ノ方ハ起立

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ第十七條ノ第二項ニ「其他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ得」ト云フヲ削ルト云フ阪本君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ第十七條ノ第二項ニ「其他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ得」ト云フヲ削ルト云フ阪本君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 御異議ナイト認メマス、ツレカラ其條ノ中「又ハ受渡」ト云フ四字ヲ削ルト云フ阪本君ノ修正ガアリマス

○阪本彌一郎君 此點ニ就テ政府ハ御同意ニナリマスカドウカ伺ヒタイ

○政府委員(岡實君) 同意出來マセヌ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 阪本君ノ修正ニ御賛成ノ方ハ起立

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ツレカラ次ニ第二ノ……

起立者 少數

○渡邊修君 小泉君ノ「三箇月以上」ト云フノニ賛成致シマス

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ツレデハ小泉君ノ案ニ付テ賛成ガアリマス

○阪本彌一郎君 ツレデハ私ハ渡邊君ノ元ノ通りヲ私ノ意見ト致シマス

○委員長(法學博士鵜澤總明君) サウスルト小泉君ノ「前項ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ取引所之ニ對シ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ又ハ之ヲ除名スヘシ」即チ「之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ又ハ」ト修正スルト云フ意見、之ニ就テ何カ……

○小泉策太郎君 政府ハ委員會ノ此修正ニ御同意ニナルカドウカ、意見ヲ伺ヒ置キ

○農商務大臣(山本達雄君) 御承知ノ通り今度稅ヲ減シマシタイロノノスルノモ、

吞行爲ヲ餘程減シタイト云フコトデアリマシタノデスガ、又此小口落ナドモ吞行爲ト大

變ナ關係ガアリマス、是モ是マデノ商習慣ニ依リテ認メテ居ルト云フヤウナコトゴザイマ

ス、ソコデドウシテモ此吞行爲ヲスルト云フコトハ仲買ノ其ヤリ方ニ任シテ置クカドウカハ、

餘程調ベテ見タノデス、イロノノアルガ其人ニ信賴スルヨリ外仕方ガナイ、從ツドウモサ

ウ云フコトデアレバ、除名ト云フコト位ノ重イモノニシテ行カウト云フコトニ一致シタノデゴ

ザイマス、併シ段々御説モアリマシテ、餘リスノ如クシテハ酷ダト云フ論モアリマス、併シ何

シロ吞行爲ヲシテ除名ヲセラレルト、ツレハ五箇年ノ間ト云フモノハドウシテモ仲買人ニナ

レヌ位ノモノデゴザイマスカラ、縱令營業ヲ停止シテモツレニヤハリ伴ウタル年月ガナイト

面白クナイト思ヒマス、ツレデアリマスカラシテ三箇月以上ト云フ月日ヲ限ツテノ營業停

止デアレバ、政府ニ於テモ同意スルコトニ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 異議ナシ者ト認メマス

〔加賀卯之吉君「異議ガアリマス」ト呼フ〕

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 唯異議ガアルト云フデケデハ……

〔加賀卯之吉君「之ニ對シテ意見ヲ述ベテ見タイ」ト呼フ〕

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 發言ヲ許シテ居リマセヌ

○加賀卯之吉君 委員長

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 加賀君

○加賀卯之吉君 私ハ今ノ農商務大臣ノ仰シヤルコトヲ聞カナイガ、私ハ此吞行爲ト云フコトヲ保護スルコト云フ意味デハナイガ、一體仲買ヲ取締ルノニ直ク除名スルコト云フヤウナ條文ヲ置イテ、サウシテ處分スルコト云フヤウナサウ酷ナコトヲヤラナクデモ、ヤハリ何箇月以上ト云フヤウナ……

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ソレデハ決ヲ採リマス、小泉君ノ「之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ又ハ」ト云フ句ヲ入レルト云フ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ乞ヒマス

起立者 多數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 多數デス、ソレカラ二十六條ノ第一項「決定シ及文ヲ公示スヘシ」ト云フ中ノ「及」ヲ削除スルコト云フ 紫安君ノ……

〔是ハ贊成ガナイ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ソレデハ是ハ整理シテ置キマス、ソレカラ第二項ヲ削ルト云フ阪本君ノ說ニ贊成ノ方ハ起立

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ソレカラ第二十六條ノ二ヲ「取引所外ニ於テハ取引所ニ命令シテ」ト修正スル之ニ異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) サウ決シマス、第三十一條ノ第一項「刑法ノ刑重キトキハ刑法ニ依ル」トアルヲ削リ、同條第四號「仲買人ニシテ委託者ニ對シ共委託ヲ受ケタル取引ニ關シ虛偽ノ通知ヲ爲シタル者」ト云フヲ削ルト云フ 渡邊案ニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 其通り決シマシタ、ソレカラ第三十三條ノ二、此第三號ヲ削ルト云フ阪本君ニ贊成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ソレカラ第三十二條ノ五、是ニ付キマシテ阪本君ノ削除案ガ出テ居リマスガ、贊成ノ者ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、然ラバ此案ノ「取引所外ニ於テ」ト云フノヲ「取引所ニ依ラスシテ」ト修正スルコトニ付テ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 其通り決シマス、第三十六條ノ六「又ハ第三十一條第四號ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲シ」ト云フヲ削ルト云フコトニ付テ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 其通り決シマシタ、サウシマス附則ノ「本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フ阪本君ノ修正案ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數、ソレカラ更ニ「本法ハ施行以前ノ行爲ニ溯及セス」ト云フ阪本君ノ修正說ニ同意ノ方ハ……

○阪本彌一郎君 之ハ固ヨリ其意味デアラウト思ヒマスガ、政府ノ所見ハ如何デゴザイマス

○政府委員(岡實君) 今阪本君ノ述べラレタ通りト考ヘマス

○阪本彌一郎君 ソレデハ必要ガナイ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ソレデハ是ハ撤回デアリマス、ソレカラ此案ハ唯今ノ通り修正可決致シマシタガ、尙字句ノ修正等ハ委員長ハ御一任ヲ願ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ソレカラ次ニ取引所稅法改正法律案ノ討議ニ移リマス

○阪本彌一郎君 私ハ大體ニ於テチヨット政府ニ聽イテ置キタイト思ウ、取引所ノ取引所稅ト云フモノハ從來取引所ノ方デ御取リニナツテ居タノデアリマセウ、今度之ヲ賣買取引稅ト云フコトニナリマシテ、仲買人ノ方カラ御取リニナルト云フコトニ極マツヤウデアリマス——極メルト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、之ハ私共ノ見ルトコロカラ考ヘマスレバ、ヤハリ從來ノ通り取引所ノ方カラ御取リニナル方ガ徵稅ノ手續ガ簡單デアツテ、脫稅其他ノ憂ガ一切ナクナルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、政府ハ何カ別ニ見ルトコロガアツデ之ヲ仲買人ノ方カラ直接取ルト云フコトニシテ、取引所ノ方カラ取ルト云フ事柄ヲ御改正ニナツタ譯デアリマスガ、特別ノ理由ガアレバソレヲチヨット同ツテ置キタイ

○政府委員(今村次吉君) 御答致シマスガ、前回モ主稅局長カラ申上ゲタ答デゴザイマスガ、此取引所稅ニ付キマシテハ本來ノ性質カラ考ヘテ見マシテ、此モノハ營業稅ト取引ノ行爲ニ對スル稅ヲ包括サレアルト見ルノヲ至當ノモノト思フノデアリマス、ソコデソレヲ一ツニ分ケテ營業稅ノ方ハ問題ニナリマセヌガ、取引稅ノ納稅者ヲ如何ニスルカト云フト、其人ノ取引稅ト云フモノハヤハリ仲買人ヲ通ジテ即チ客ノ委託ヲ實行スルモノデゴザイマスカラ、ソレニ對シテ課稅ヲ命スルモノデアリマスルカラシテ、謂ハバ間接ノ租稅デアリマス、間接ノ租稅ヲ納稅者トシテ仲買人ヲ通ジテ行ハレル場合デアアルカラ、仲買人ヲ納稅人ニシタ方が稅ノ本則カラ言フテ至當デアアラウト思ウ、ソレカラ又此直接ノ納稅者ニ致シマスト云フコトニ致シマスト云フト、總テノ納稅上ノ検査監督等ニモ餘程便宜ヲ得ラレル點ガアルノデゴザイマス、ソコデ例ノ取引所當然行ハヌ吞行爲ニ對スル脫稅ヲ防グニ付デモ、ドウシテモ仲買人ヲ納稅ノ主體ニ致シテ置キマセヌト課稅スルコトガ出來ナイヤウナコトガアリマス、ソレ等ノ理由ヲ以テ仲買人ヲ納稅者トシタ譯デゴザイマス

○阪本彌一郎君 私ハ此「第一條取引所ニハ賣買手數料收入金額百分ノ十五ノ割合ニ依リ取引所營業稅ヲ課ス」ト云フ十五ノ二十ニ直シタイ、私ハ全體從來ノ取引所カラ徵收スル方法ヲ改メテ仲買人カラ徵收スルコトニシテ、稅ノ負擔ヲ輕クシテ、當ラ失シテ居ルコトデアリト考ヘルデアリマス、稅ヲ取リマスルノニハナルベク徵收ノ手數ヲ掛ラナイヤウ、ツレカラ又成ルベク脫稅ヲスル途ノナイヤウニ計リマスルノガ、稅ヲ取ルトコロノ最良ノ方法デアリト考ヘルデアリマス、所ガ之ヲ仲買人カラ直接取立テ致スコトニナリマス、從來取引所カラ取立テ居タルコロノ徵稅方法ヨリモ非常ニ繁雜ナ手數ヲ要スルト云フ事柄ハ、新規ニ此規定——此ノ如キ繁雜ナル規定ヲ設ケラレナケレバナラヌト云フ事柄ダケツレダケ繁雜ニ相成ルデアリマスルカラ、之ガドレダケ繁雜ニナルト云フ事柄ハ多言ヲ述ベズシテ明カデアリマス、サウシテツレガタメニ及ボストコロノ影響ト云フモノハ至大デアリマス、仲買人ニ於キマシテ毎月取調ヲシテ申告ヲナケレバナラヌ、ツレカラシテツレヲ取引所ガ取次イデ、ソコデアリ完全ニ雙方異存ナク濟メバ宜イガ、取引所ノ方ノ意見ト若クハ稅務署ノ意見ト仲買人ノ申告ヲ致シマシテ事柄ニ相違ノ點ガアリマシタ時分ニハ、又ツレヲ非常ニ多ク取調ヲシナケレバナラヌト云フ煩雜ヲ來スデアリマス、デサウ云フ煩雜ナ手數ヲシテ、ツレガタメニ幾多ノ紛擾ヲ生ジマスルト云フ事柄ハ、大藏省ニ於テモ私ハ好マレルトコロデアリナイト思フ、ツレカラ又一方カラ申シマスレバ、仲買人ナドヲ商賣ニシテ居リマス、商賣人ノ店ニ參リマシテ、何時デモ自由自在ニ帳面ヲ検査ヲサレ、サウシテツレニ依リマシテ一々取調ヲ受ケルト云フ事柄ハ、實ハ銀行ヘ來テ銀行ノ帳簿ヲ取調ヲシテ、サウシテ銀行ニ取付テ促スト云フヤウナ結果ニナリハシナイカト思フノデス、仲買人ノ營業ハ或場合ニ於キマシテハ殆ド銀行ノ營業ニ相類似致シテ居ルデアリマシテ、一朝是ガ取付テ蒙ルナドト云フコトガアリマシタナラバ、少ナクトモ其仲買人團ノ實ハ信用ニ影響ヲ及ボシマシテ、延イテ或ハ其地方ノ經濟社會ニモ影響ヲ及ボスト云フヤウナ至大ノ關係ヲ有テ居ル事柄ヲ、殊更ニ簡單ナル手續ヲ避ケテ、此面倒ナル手續ニ就クト云フコトハ必要ハナイト私ハ考ヘマス、成程純粹ナル理論カラ言ヘバ、仲買人ハ仲買人ト云フ一ツノ仕事ヲシテ、其仕事ヨリ得ル收入ガアリマスカラ、其收入ヲ標準トシテ課稅ヲ致シマスル事柄ハ、是ハ理窟ト致シマシテハ當然ナコトデアリカ分リマセヌケレドモ、併ナガラ從來理窟アナクシテ簡便ニ行ハレテ居タル方法ガアルデアリマス、又取引所カラ取立テ致シマスルモノモ、ヤハリ理窟ヲ付ケレバ付カヌト云フコトモナイデアリマス、サウシテ見マスレバ此事柄ヲ避ケテ、サウシテ殊更ニ煩雜ニ就ク理由ハ何レニアラカト私ハ疑フデアリマス、取引所ガツレハドウカト言ヘバ、取引所ノ方デモヤハリ其申告書ノ取次ヲ致シマシタリ、稅ノ取次ヲ致シマシタリト云フヤウナ詰ラナイ手數——何等益ノ無イ手數ヲシ、煩雜ナル事ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ事柄ニナルデアリマス、サウシテ見マスレバ此課稅ノ方法ガ根柢カラ私ハ間違ッテ居ルト信ズルデアリマスガ、既ニ此取引所法ヲ改正致シマシテ、此改正ヲ致シマシテ趣意ガ幾部分減稅ヲスルト云フ趣意ニ出デタト致シマスレバ、私ハ多少ノ不承ヲ犧牲ニ供シマシテモ、先ヅ減稅ヲスルト云フ趣意ニ任ゲテ從ハウト考ヘル——任ゲテ從フテ宜カラウト考ヘマスガ、此取引所ノ營業稅ト云フモノノ百分ノ十五ニ致シマスルト云フ事柄ハ、餘リ輕キニ失スルト云フコトニナル、是ハ私ハ先キヘ行ッテ第五條ニ此「萬分ノ五」トアリマスモノヲ「萬分ノ四」ニ改メル、

斯ウ云フ意見ガアリマス、收支ノ勘定カラ申シマスレバ丁度ツレガ萬分ノ一位シカ違ハヌノデス、私ハ其直接ニ營業ヲ致シマスルコロノ取引稅ト云フモノ、稅ノ負擔ヲ輕クシテ、サウシテ取引所カラ納メルトコロノ稅ヲ重クシヤウト云フ考ヲ有テ居ルデアリマス、實ハ此取引所ハ昔ハ自分ノ市場ヲ貸シテサウシテ稅ヲ負擔シ稅ヲ納メル、斯ウ云フ一ツノ責任ガアリマシタカラ、取引所ニ對シテハ相當ノ收入ノアルコトヲ許シテ宜カラウト思フデスケレドモ、今日モウ一般取引所デ煩雜デアッタコロノ稅ヲ納メルト云フ、殊ニ納稅ト云フ仕事ヲ全然廢メテシマウコトニナッテ、取引所ノ方カラツレヲ取去ルコトニ相成リマスレバ、取引所ノ仕事ハドウ云フ仕事カト申シマスレバ、之ヲ約メテ申セバ唯市場ヲ貸スト云フコトニ過ギナイ、其市場ヲ貸シテ其市場ニ出來タ公定相場ヲ世ニ發表スル事柄ダケガ取引所ノ仕事ダケニナル、其仕事ト云フモノハ實ニ極メテ簡單ナモノデアリマシテ、今日ノヤウニ田舎デハサウアリマセヌケレドモ、東京トカ大阪見タヤウナ大キナ取引所デ、實ハ澤山ナ資本ヲ有ッテ、澤山ナ人ヲ入レテ、殆ドスル仕事ト云フモノハナイ、唯市場ヲ貸シテ市場ヲ監督シテ居レバ宜イト云フ譯ニナル、而シテ其收入ガ餘リ私ハ多過ギルト云フ結果ニナル、市場ノ貸料ト致シマシテハ取引所ノ收入ガ多過ギルト思フカラ、取引所ニ納メベキ「百分ノ五」ヲ「百分ノ二十」ニ致シマシタカラト云フテ餘リ影響ハナイ、是カラハ取引所ノ仕事ハ寢テ居ッテモ出來ルコトニナル、責任ハ非常ニ輕クナル、稅ヲ納メルト云フ責任ガ輕クナル、市場ヲ貸シテ其市場ニ出來タ公定相場ヲ世ニ發表スレバ足レリト云フコトニナルデアリマス、是迄ノヤウニ取引所ニサウ澤山ノ税金ヲ拂ッテヤル必要ハナイト私ハ考ヘルデアリマス、ツレデアリマスカラ私ハ減稅ノ目的ヲ以テ此取引所稅ナルモノヲモウ少シ廉クシタイ——廉クシタイト云フ必要カラ、此收支ノ鈞合ヲ合セマスルタメニ「百分ノ十五」ヲ「百分ノ二十」ニ致シマスレバ出入勘定ハ同ジコトデ、サウシテ取引所稅——營業稅ヲ多クスルト云フ結果ニナッテ、大藏省ノ國庫ノ勘定ハ殆ンド違ヒガナイト云フ結果ニナルデアリマス、サウシテ甚ダ寧ろ其修正ノ方ガ穩當デアルト云フコトニ自分ハ考ヘルデアリマスルカラ、此賣買手數料收入金額「百分ノ十五」ト云フノ「百分ノ二十」ノ斯様ニ修正ヲシタイデアリマス

○根津嘉一郎君 此取引所稅法ノコトデゴザイマスルガ、之ニ付キマシテハ多少研究致シマシタナラバ、修正加除ヲ爲サネバナラヌ箇所モゴザイマスガ、會期切迫ノ折柄デゴザイマスカラ、私ハ此第一條ヨリ第三十二條、及ビ此附則マデ全部異議ナイモノトシテ認メタイト思ヒマスカラ、諸君ノ御同意ヲ願ヒマス

〔贊成々々〕〔聲起ル〕

○阪本彌一郎君 私ハ反對デアリマス

〔採決々々〕又「ノウウ」ト呼フ者アリ

○渡邊修君 根津君ノ說ニ贊成致シマス、全部私共ハ異議アリマセヌカラ、之ヲ一括シテ決ヲ採ラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕〔聲起ル〕

○阪本彌一郎君 ツレデアハ私ハ全部ニ付テ意見ヲ述ベマス

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ツレハ併シ一條ノ修正案ガ出テ居リマスカラ……

〔賛成者アリマス賛成者一人モナイト呼フ者アリ〕

○阪本彌一郎君 是ハ一條々々御採決ニナリマスカ

〔討論終結ト呼フ者アリ〕

○阪本彌一郎君 討論終結ト云フコトハアリマセヌ、私ハ全體ニ付テ意見ガアルト云フコトヲ留保シテ置キマス

○加賀卯之吉君 議事ノ進行ニ付テ一言シマス、阪本君ノ……

○委員長(法學博士鵜澤總明君) チョット御持下サイ、ドウデスワナコトヲ言フテ居ルト喧嘩ニナリマス、ソレデ修正ノ箇條ダケヲ出シテ貰ッテ、ソレデ直グニ決ラ探ッテシマタラドウデスカ、議論ハ分ッテヤウデアリマス

○加賀卯之吉君 私ガ言ヒマス、今根津君ノ言ハレル通り私共モ是ニ付テハ改正ノ意見ヲ持ッテ居リマスガ、此際已ムラ得ズ服從シマス、殊ニ政友會諸君モワア〱言ハズニ、阪本君ガ言フノナラ言ハシテ、大抵間ニ合ハシタ方ガ宜イデアリマセヌカ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ソレハ第五條ニ付テ阪本君

○阪本彌一郎君 尙ホ私ハ第五條ニ至ッテ修正ノ意見ガアリマス、此「取引所ニ於ケル定期取引ニハ其ノ賣買各約定金高ニ對シ左ノ稅率ニ依リ取引稅ヲ課ス第一種地方債證券社債券萬分ノ二第二種有價證券萬分ノ五第三種商品萬分ノ五賣買ヲ解約スルモ其ノ稅金ハ之ヲ免除セス」此萬分ノ五ト云フノ第二種及第三種トモ萬分ノ四ト直シタイト思ヒマス、此政府ノ提案ノ趣意ニ依リマスルト、萬分ノ五ト云フコトニ稅率ハ減額ヲ致シマスケレドモ、實ハ今日ノ財政上國庫ノ收入ニ影響ガアルト云フコトハ甚ダ困ル、而シテ全體吞行爲ト云フモノヲ取締ラシレバ、萬分ノ五トシテモ國庫ノ收入ニ餘リ影響ガナイト云フ御意見デアルト云フコトアル、トコロ此萬分ノ五ト云フモノヲ萬分ノ四ニ修正ヲ致シマシテ、此萬分ノ一ノ埋合セト云フモノハ第一條ノ修正ニ依リマシテ百分ノ十五ヲ百分ノ二十ニ致シマスレバ、ソレデ萬分ノ四ニ直シマシタ埋合セガ附クノデアリマス、唯一口ニ申シマスレバ仲買人ノ方ノ取引稅ト云フモノヲ萬分ノ一ヲ減シマシテモ、其代リニハ取引所營業稅ノ方デ百分ノ十五ト云フモノヲ増シマスル結果ニナリマシテ、收支ハ是デ相償フノデアリマス、サウ致シマスレバ國庫ノ收入ノ上ニ於テ何等ノ影響ガナク、修正ノ減稅ノ目的モ達セラル、ノデアリマシテ、此點ニ付キマシテハ直接ニ其營業ヲ致シマスル者ガ利益ヲ得マシテサウシテ營業ヲシナイ、言ハ、何等殆ド用ノナイ極端ニ申シマスレバ娼妓ガ癮テ金ヲ取ルヤウナ手數料ヲ取ル、取引所ニ稅ヲ多ク課ケルト云フヤウナ意味合ニナリマシテ、甚ダ課稅ノ上ニ於キマシテモ公平ヲ得ルト云フ譯ニナルノデアリマス、私ハ此二點トサウシテ第一條ノ點ト關聯シテ修正說ヲ提出致シマス、ソレカラ又「政府ノ同意如何」ト呼フ者アリ「政府ノ同意如何ハ問フ所デナイ、是ハ政府ガ同意シナクテモ政府ノ全體收入ノ上ニ關係ガナイトデアリマスカラ、無論正當ナモノナリト信ズレバソレデ宜カラウト思フノデアリマス、ソレカラ第八條「取引所ノ仲買人又ハ會員ハ毎月分ノ定期取引ノ賣買各約定金高ヲ種別毎ニ記載シタル申告書ヲ取引所ヲ經テ翌月十日迄三政府ニ提出ス可シ」ト云フコトガアリマス、實ハ吾々ノ經驗ニ依リマスレバ、年ニ一度屆ケテ宜イ所得稅デアリマス、之ヲ屆ケマスニ期間ヲ遅レマシテ容易ニ手續ガ出來ルモノデナイ、偶々ツレガ氣ガ付キマシテモ實ハイロ〱ナ用事ガアリマシテ、サウ云フコ

トヲ一々取調ベテハ煩雜デアリマス、人ニ委セテ置ケバ間違ヒ易イト云フコトデ、自分ガ目ヲ通スコトニナリマス、一年ニ一度屆出ヲスレバ宜イト云フ事柄デモナカ〱出來ルモノデナイ、トコロガ仲買人ノ仕事ハ御承知ノ通り煩雜ナ取引ヲ致シマスル間ハ非常ニ劇務デ、而モ瞬時ヲ爭フト云フヤウナ極メテ時間ヲ爭フ仕事デアリマス、其仕事ヲ致シマシタアトデハ、之ヲ皆ナ手ヲ分ケマシテ整理ヲシナケレバナラス、此整理ヲ致シマスルコトニ付テハ仲買人モ實際ニ相場ノ立ッテ居リマス中ハ殆ド寧日ガナイ、朝八時頃カラ夜十時頃迄ハ全ク其業務ニ一身ヲ委ネテ居ラナケレバナラス、其間ニ組合ノ仕事ガアリマセウシ、取引所ト交渉ガアリマシテ煩雜ナ仕事デアリマス、ソレニ對シテ非常ナ利害ノ關係ノアル、又非常ニ煩雜ナ手續ヲシナケレバナラス、此賣買課稅ノ標準ハ相成ルベキ賣買ノ約定ヲ種別ニ記載シテ、一々取引所ヲ經テ政府ニ毎月提出致シマス事柄ハ、寧ロ難キヲ責ムルコトニナリマス、是ハ實際ノ仲買人ノ狀態ヲ實際ニ見タ者ハ、連モサウ云フコトヲ致シマスル暇ハナイ、サウシテ其手續ヲシナカッタ時分ニハ、先ツ此法律ガマルデ通ルト致シマスレバ、十九條ニ於テ相當ノ制裁ヲ受ケナケレバナラス、仲買ト云フモノハ唯單ニ寄メラル、機關、稅ヲ控ラル、一種ノ機關ニ相成ッテ終ラナケレバナラスコトニ相成ルノデアリマス、斯ノ如キ事柄ヲ仲買人ニ責ムルト云フコトハ、難キヲ責ムルト云フコトニ相成ルノデアリマス、是ハ私ハ此毎月ヲ六箇月ニシタイ考ヲ持ッテ居リマシタガ、六箇月ト云フノモ餘リ長過ルト云フ說ガ出マシタシ、定期取引ハ三箇月ヲ一期トスルコトニ相成ルノデアリマス、悉ク三箇月デアルト云フ譯ニハ參リマセヌガ、毎月ヲ三箇月分ニ直シタイ、サウシテ三箇月分ヲ一總メニ致シマシテ、サウシテ其翌月ノ十日迄ニ政府ヘツレヲ提出スル、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シタイト思ヒマス、デ第八條ノ毎月ト云フコトヲ三箇月ト云フコトニ直スコトニ致シタイ、隨ッテ之ニ伴フ稅金ノ取立デハ皆之ヲ三箇月ニ繰下ゲルトコトニ致シタイト思ヒマス、第九條ノ「翌月末日迄ニ政府ニ納付スヘシ」ト云フコト、之ヲ「申告書ヲ提出シタル月ノ末日マデニ政府ニ納付スヘシ」ト修正シタイ、ソレカラ第十四條ノ「收稅官吏ハ取引所取引所ノ仲買人又ハ會員ニ就キ其ノ賣買手數料又ハ賣買取引ニ關スル帳簿書類ヲ檢査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウアル、私ハ此法條ハ絕對ニ廢メタイト思フ、從來營業稅ナドニ付テ營業者ト稅務署トノ間ニ於テ紛擾ガアリマスノハ、多ク此帳簿ノ檢査ヲスル場合ニ於テ、營業人ハ稅務官吏ト應對ノ模様ニ依テ大概感情ノ衝突ガ起ッテ、ツレガタメニイロ〱紛擾ヲ來スノデアリマス、國民トサウシテ官憲トノ間ニ於テ不和ノ形成サレルトハ多クハ此場合デアリマス、實ハ此事柄ハ或ル意味ニ於テハ善ク用非ラレバ餘リ害ハナイガ、惡ク用非ラレタ時分ニハ非常ナ弊害ガアル、例ヘバ仲買人ナドニ於テ殊ニ左様デアリマスガ、彼ノ家ノ信用ヲ害シテヤラウト云フヤウナコト、所謂商賣敵デ賣トカ買トカ絶ヘズシテ居ル中ニ、百計盡キテ方法ノナイ時分ニハ、不正ノ官吏ニ向ッテ彼處ノ家ノ帳簿ヲ調べテヤッテ吳レ、彼處ノ稅ガ安イト云フ申告ヲスル者ガアル、官吏ガ行ッテ調べルトハ拒絶スルコトガ出來ナイ、即チ店先(行)澤山ノ帳面ヲ調ベルコトヲ拒ムコトノ權利ガアリマセヌカラ、ソレガタメニ仲買人ハ非常ナ迷惑ヲ蒙ル、從ッテ將來ノ懸引ノ上ニ於テドレダケ迷惑スルカ分ラヌノデアリマス、買トカ賣トカニ付テ其帳面ノ内容ヲ見ラレト、御客ノ筋ガ分ルトカ、若クバドウ云フ懸引ヲシテ居ルト云フコトヲ其帳面ノ上ニ於テ調ベラレテ、其内證事ヲ他ニ發

カレト云フ憂ガアル、敢テ不正ヲ官吏ニ向テ説明スル、官吏が出張シテ調ベルコトハ絶対ニ
秘密アル、秘密ヲ守ラナケレバナラヌガ、其事が漏サウト思ヘバ漏セル、サウ云フ場合ヲ想
像シテ置ナケレバナラヌ、斯ウ云フ事柄ガアルタメニ、此條ノ規定ガアルト仲買人ナリ取引
所ナリ絶對ニ之ヲ拒ムコトが出来ヌト云フハ甚ダ面白クナイ、從テ將來言フベカラザル
弊が生ズル規定アリマスカラ、私ハ此第十四條全部ヲ削除シタイ考ヘデアリマス、ソレデ
十五條以下ハ漸次條ヲ繰下ゲタイト云フ意見デアリマス、ソレカラ此十六條十七條ノ
金ヲ減ジテ置キタイト、此十六條ノ「取引所ノ仲買人又ハ會員第八條又ハ第十一申告
ヲ怠リ又ハ作リタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料ニ處ス」因リテ脱税シタルトキ
ハ脱税高五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ其税金ヲ徴收ス但シ税金二十圓未滿ナルトキハ
罰金額百圓トス「此脱税高五倍ト云フコトデアリマスガ、之ハ現ニ脱税ヲシタ場合ニ
ハ罰金ニ處セラレ、其上ニ脱税高五倍ノ金ヲ取ラレルコトハ甚ダ酷デハナイカ、殊ニ此
二十一條ニ依ルト、會員ノ代理人戸主家族同居者雇人は等ノ者ガ此法律ヲ犯シタ
時分ニモ、尙之ヲ處罰スルコトニナツテ居リマス、サウシテ見レバ往々ニシテ此雇人ナドガ
雇人量見テ主人ニ知レナイヤウニイロノナ間違ハスル、仲買人ノ店ナドニ於テハ殊ニ
ソレガアル、私ハ「此百圓以下ノ罰金」ト云フモノヲ五十圓以下ノ罰金トシテ、脱税高
五倍ヲ一倍ト云フコトニ改メタイ、從テ此十七條ノ五倍モヤハリ二倍ト云フコトニシタイ
ト思ヒマス、次ニ第十九條ノ第三項之ヲ全部削除シタイ「收税官吏ノ質問ニ對シ答辯
ヲナス若クハ虚偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ職務ノ執行ヲ拒ミ之ヲ妨ケ若ハ忌避シタルト
キ」之ハ職務執行ヲ拒ンダリスル時分ニハ既ニ刑事上ノ責任ガアリマス、刑事上ノ責任
ハ制裁ガ重イノデアリマスカラ、之ヲ茲ニ規定スル必要ハナイ、ソコデ此執行ヲ拒ムト云
フ事柄ヲ取去リマス、實ハ質問ニ對シテ答辯ヲ爲サヌトカ、尋ネタコトヲ正直ニ言ハ
ナカッタト云フヤウナ事柄ハ處罰スル値ハナイト考ヘマス、之ハヤハリ刑法ニ於テ別ニ制裁
ノアルコトデアリマスカラ、此第三號ハ削除スルコトニシタイト思ヒマス、ソレカラ第二十一
條「取引所ノ仲買人又ハ會員ノ代理人戸主家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ
其業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ其仲買人又ハ會員ヲ處罰ス」トアル、是レハ「處罰」
ト云フ事柄ヲ廢メタイト思フ、私ハ罰金若クハ科料ニ付テノ負擔ヲ爲スト云フ事柄
ハ認メテ宜カラウト思フ、是レハ仕方ガナイケレドモ、之ヲ罰スルコト云フ理窟ハナイ、ソレ
デ斯ウ云フコトニ極メタイ、從業者ニシテ其業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキ、其法ヲ犯シ
タル者ニシテ罰金若クハ科料ヲ納還スルコト能ハザルトキニ、仲買人又ハ會員ハ之ヲ納
付スル責任ヲ有テ居ルト云フコトニシタイ、唯金ヲ納メルト云フ責任ヲ有タス、刑事上
ノ責任ハ免レテ、民事上ノ責任ヲ有タスト云フコトニシタイ、文章ハ若シ之レガ通過致
シマスレバ委員長ニ於テ御直シヲ願ヒタイ、ソレカラ附則デス「本法ハ大正三年九月一
日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十二條ノ規定ハ大正四年四月一日ヨリ施行ス」ト書イデア
ル、之ヲ但書以下ヲ削リマシテ「本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト斯ウ云フ
コトニシタイ、是レハ取引所法ノ場合ニ申シマセヌノデアリマシタカラ、一言茲デ申上ゲテ
置キタイト思ヒマス、九月一日ト云フコトニナリマス、半期シカナ、五箇月程シカナ、
所ガドチラカト申シマスレバ、取引所ノ取引方法ト云フモノハ殆ド舊慣若クハ古例ヲ遵
守シテ居ルモノガ多、實際法律ヲ周知セシムルト云フコトハ容易デナイ、單ニ取引所若

クハ仲買人ノ局部ニ限ジテ周知セシムルト云フコトハ餘リ困難デハナイガ、一般ノ注文者
委託者ニ向テ此法律總テヲ周知セシムルト云フコトハ容易デナイ、之ヲ僅ニ五箇月ヤ
六箇月ノ間ヲ置イテ實施スルト云フコトハ寧ロ穩當デハナイ、十分此コトヲ知ラシテ、サ
ウシテ現ニ取引所法ノ關係ナドモ餘程明カニ知ラシテ、而シテ後ニ徐ロニ實施スルコトガ
適當ト信ズルノデアリマス、是レハヤハリ一箇年ノ餘地ヲ與ヘテ置ク必要ガアルト考ヘマ
スカラ、此意味ニ於テ修正ヲ致シマス

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 阪本君ノ修正ニ賛成ガアリマスガ

(賛成ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ソレデハ第一條第五條ハ同ジデスカラ一緒ニ決ヲ
採リマス、第一條ノ「十五」ヲ「三十」ニ改メ、第五條ノ「萬分ノ五」ヲ「萬分ノ四」ニ
改メルト云フ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數デス、第八條ノ「毎月分」ヲ「三月分」ト云
フ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數 第九條ノ「毎月分」ヲ「三月分」ニ改
メ、ソレカラ「翌月」ヲ削ジテ「申告書ヲ提出シタル日」ト云フ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ
願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數 第十四條全部ヲ削除シテ、以下條文
ノ整理上繰上ラスルト云フ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數 ソレカラ第十六條ノ「百圓」ヲ「五十
圓」ト改メ、脱税高「五倍」ヲ「二倍」ニ改メルト云フ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數 第十七條ノ税金「五倍」ヲ「二倍」ニ
改メルト云フ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數 第十九條ノ第三號全部ヲ削除スルト
云フ修正ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數 第二十一條ノ「本法ヲ犯シタルトキ
ハ」以下ヲ削ジテ「罰金ヲ完納スルコト能ハザルトキハ其仲買人又ハ會員ハ納付ノ責ニ
任ス」ト云フ意味ノ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數 ソレカラ附則ノ「本法ハ大正三年九月
一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十二條ノ規定ハ」トアルヲ削ジテ「本法ハ大正四年四
月一日ヨリ施行ス」ト云フ修正ニ同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 少數——外ハ皆原案通り異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 御異議ガナケレバ共通リ決シマス、原案ニ決シマ

ス

○加賀卯之吉君 チョット御尋致シタイガ、仲買人ノ賣買手数料ニハ地方税ヲ課セナ
イカ否ヤ

○政府委員(今村次吉君) 取引税ニハ附課税ヲ課ケマセヌ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ソレデハ散會致シマス

午後五時九分散會

衆議院取引所法中改正法律案外一件委員會議錄第三回正誤

頁	段	行	誤	正
二八	下	二四	小口落ト云フ ヤウナモノニ 付	小口落ヲ認メ ルヤウニナツ タニ付
同	同	三八	方法ガ	方法デ
二九	上	一三	行クガ	行クト
同	同	一七	大阪ニハ	大阪堂島ニハ
同	下	四	片一方	片増證
三〇	上	二五	收入關係	手数料關係
同	同	二九	賣買即チ賣買 チ賣買	「バイカイ」即 チ賣買
頁	段	行	誤	正
三〇	上	三二	賣買ヲ一時ニ 受クル	「バイカイ」モ 一時ニ立テル
同	下	一七	繼承	競争
同	同	二五	成行	指直
同	同	二六	成行	「バイカイ」モ
同	同	三一	賣買モ媒介	賣買
同	同	三二	唯今行フ媒介 媒介	唯今行フ「バ イカイ」 賣買